

どきどきわくわく「つくばね学探究」スタート!

筑波高は、茨城県の「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」の重点校となっています。その取り組みの中心となっているのが、2年で学ぶ「つくばね学」と3年で学ぶ「つくばね学探究」です。「つくばね学」と「つくばね学探究」は、地域の教育力を活用して教室を離れて行う体験的な授業であり、茨城県内唯一の取り組みとなっています。毎週金曜日の午後実施する地域での校外実習等を通して、現代っ子には少々不足気味と言われる「人間力」を育み、社会の一員として地域に貢献できる人材の育成を目指しています。

「つくばね学」と「つくばね学探究」は、平成27年度入学生から導入されましたので、本年度が完全実施年度となり、3年で学ぶ「つくばね学探究」は今年度初めて行われます。そして、その「つくばね学探究」の校外実習が4月21日より、いよいよスタートしました。昨年度の「つくばね学」に引き続き、生徒たちは毎週金曜5～6限時につくば市北条地区、小田地区、その他の地区の実習先に行き、様々な体験活動を楽しんでいます。



筑波高の伝統行事! 春の筑波山への歩く会!

筑波高恒例、学校から筑波山までの「歩く会」が5月2日に行われました。晴天に恵まれ、絶好の歩く会日和になりました。「歩く会」は、りんりんロード付近のゴミ拾いなどのボランティア活動も兼ねて行われています。「歩く会」の途中、何人かのグループに分かれ、談笑しながらの歩く姿など、微笑ましい光景を多数見ることができました。登山道に入ると、とさすがに勾配がきつくなり話し声は少なくなりましたが、みんなで声をかけながら、最後まで歩き通すことができました。生徒たちは、協力しながらゴミ拾いを行い、りんりんロードから筑波山神社、つつじヶ丘まで歩き、新緑の筑波山を満喫しました。



ボクシング部 7年連続 関東大会出場決定!

平成29年度関東高等学校ボクシング大会茨城県選考会が、5月14日～16日にかけて、県立水戸桜ノ牧高常北校ボクシング場にて行われました。本校ボクシング部から3年加藤竜也さん(都和中出身)がピン級に出場して優勝、同じく3年江川理さん(土浦第四中出身)がミドル級に出場して優勝しました。本校ボクシング部は県内有数の強豪校で、関東大会出場は7年連続9回目となります。

茨城県選考会で優勝した加藤竜也さんと江川理さんは、6月2日～5日にかけて、群馬県前橋市で行われる平成29年度第59回関東高等学校ボクシング大会に、茨城県代表選手として出場します。両選手の関東大会での活躍が期待されています。



ボクシング専用リング設置

昨年度末、本校の格技場にボクシング専用リングが設置されました。本校ボクシング部は、県内だけでなく県外でも数多くの強化合宿に参加して競技力の向上を図っており、毎年のように関東大会、全国総合体育大会(インターハイ)、国体関東ブロック大会等に出場しています。学校内にボクシング専用リングが設置されたことによって、ボクシング部の練習環境もさらに良くなりました。ボクシング部の更なる活躍が期待されます。

JRC部「復興 春の北条市」で活躍!

つくば市北条の竜巻被害から5年が経過した5月6日、「復興春の北条市」が、つくば市北条商店街で開催されました。当日は災害時の消火活動を想定したバケツリレーなどが行われ、本校JRC部も参加し、地域の方々と交流を図りました。また、マスコットをエスコートするなどのボランティア活動に参加しました。



平成28年度卒業生 就職内定率100%達成!

平成28年度卒業生において、学校紹介による就職を希望した生徒の就職内定率は100%となりました。これで、就職内定率100%達成は3年連続となります。

筑波高校では、1年で学び直しの授業である「筑波サポートタイム(TST)」などによって基礎学力の定着を図り、2年で全員参加のインターンシップ、3年ではハローワークのジョブサポーターの方との個別面談を行うなど、進学指導だけでなく就職指導にも力を入れています。また、地域での長期的な体験活動を通して、自らの進路を見だしていく「つくばね学」と「つくばね学探究」により、卒業後の社会生活に必要なコミュニケーション能力や課題解決能力の向上も目指しています。